

委員会のおうぎ

総務

新庁舎の

実施設計始まる



総務常任委員長
森 治史

権)に分類をするものです。

税の滞納には延滞金が付けられるが、使用料は付けられないので遅滞無く支払っている方との間に不公平感が生まれないよう、滞納者に対しては民法上の手続きで対応をしていくものです。

平成25年6月30日現在の公債権、私債権の滞納数は1339件です。

●黒潮町消防団員の任免、給与、服務に関する条例の一部改正
団員の人材確保から、隊員の年間報酬2万5千円を3万5千円へ、非常出勤の費用弁償2千円を3千円に改正するものです。

●黒潮町債権管理条例の制定

税金(公債権)や使用料、水道料、町営住宅家賃(私債

●平成26年度一般会計予算
■庁舎建設費
2億3156万円
地質調査・建設基本設計・用地造成6・9haの用地取得費等です。



本庁舎建設予定のスケン谷を望む

■高台移転調査委託料 700万円

高台移転について出口部落で10件の家屋調査が行われるものです。

■公債費11億7287万円(元金10億4014万円と利子1億3237万円)

償還のピークは平成30年前後で、合併特例での交付税が平成28年から5年、毎年1億円下がりますが償還時には70%を交付税措置がある借入をしています。

●平成26年度黒潮町情報センター事業特別会計予算
使用料は8085万円(テレビ2515万円、インターネット5536万円)です。繰入金は8290万円(一般

会計から7545万円、基金から745万円)です。繰入を減らすには、加入率を上げなければならず、そのために430万円で加入推進へ2名の臨時職員を雇用します。

産業建設

いよいよ稼働

缶詰工場



産業建設常任委員長
坂本 あや

が出ました。

●平成25年度一般会計補正
■がけくずれ対策費
災害が少なく減額となりましたが、県急傾斜事業等が何回入札しても、工事をしてもらえないことで避難道等各種工事が進まない状況

■国道56号大方改良事業関係
最も大きな補正減額となったのは入野駅周辺の多目的広場を造る計画です。東日本大震災後、高台への移転希望が多くなったことや、用地取得等が難しくなり、検討委員会を立ち上げ再検討することになりました。